

スポーツ推進に向けて充実すべき施策等（計画の再考）について

I 見直しにあたって

本市では、2018(平成30)年度に以降10年間のスポーツを推進するための「岸和田市スポーツ推進計画(以下、「計画」という)」を策定し、必要に応じて見直しを行うこととしました。

2023(令和5)年度に、国の「第3期スポーツ基本計画」や大阪府の「第3次大阪府スポーツ推進計画」が策定されました。

本市においては、2021(令和3)年の「岸和田市立社会体育施設再編基本方針」の策定のほか、2023(令和5)年度からの「将来ビジョン・岸和田」、2024(令和6)年度からの第3期岸和田市教育大綱の策定等により、施策目標や関連諸施策の整合性を図る必要が生じました。

また、新型コロナウイルス感染症の蔓延による生活環境の変化等、市民のライフスタイルや意識、ニーズが計画策定時から変化していると考え、2022(令和4)年度に「岸和田市スポーツ推進計画中間見直しのための市民意識調査」を実施しました。

このたび、社会情勢の変化を踏まえ、市民意識調査の結果に基づき施策を検討し、当初計画は踏襲しつつ見直しを行い、本市の現状に応じた内容に更新しました。

II 変更点

今回、見直しを行った主なものは以下のとおりです。

「障害」という表記を「障がい」に修正したほか、時点修正、技術的な修正については記載しません。

1. スポーツ活動の推進

(1) 各種スポーツ大会・スポーツイベント・スポーツ教室等の充実 (P.9)

○体験・参加型スポーツイベントの開催

市民意識調査結果	充実すべき施策等
●市主催のスポーツイベントへの参加者が少ない	○様々な年代の市民が楽しみながら参加することができる体験・参加型のスポーツイベントの継続 ○だれもが気軽に楽しめるニュースポーツやレクリエーション型のスポーツメニューの検討

○多様なスポーツ教室の開催

市民意識調査結果	充実すべき施策等
●公共スポーツ施設の利用が少ない。公共施設に望むこととして「初心者向けの教室や行事の充実」の回答率が高い	○公共スポーツ施設での初心者向けの体験教室や体験イベント等を充実させ、社会体育施設の利用とスポーツに取り組む機会の創出

(2) 学校・家庭・地域が連携した子どもの体力向上、青少年の健全育成、仲間づくりの推進 (P.10)

○幼児期からの運動・遊びの推進

市民意識調査結果	充実すべき施策等
<ul style="list-style-type: none">●乳幼児が幼稚園や保育所等の所属以外で定期的に運動・遊びをしていない割合が約5割●子育て世代の女性の運動実施率が低い	<ul style="list-style-type: none">○乳幼児の基礎的な体力づくり、体の使い方の指導、運動・遊びの習慣化等につながる取組みの推進○幼稚園・保育所等でのスポーツ教室・講座等の充実○親子で体を動かすことができるプログラムの提供等○乳幼児健診等、親子が集う機会を活かし、親子体操プログラム等の提供

○運動部活動の充実

市民意識調査結果	充実すべき施策等
<ul style="list-style-type: none">●中学校の部活動の地域移行について、「関心がない」「わからない」と回答する割合が高い	<ul style="list-style-type: none">○中学校部活動の地域移行の円滑な実施をめざし、受け皿となる団体やスポーツ指導者の確保、地域の理解と連携の推進

○【新規】子どもがスポーツに親しむことができる機会の充実

市民意識調査結果	充実すべき施策等
<ul style="list-style-type: none">●小中学生が運動・スポーツをしない理由として、「他に楽しいことがある」、「苦手」と回答する割合が高い●中学生について、部活動で毎日運動している生徒としていない生徒の二極化が進んでいる●中学生の女子生徒の半数以上が学校の自由時間等のスポーツ・運動や帰宅後の外遊びをしない	<ul style="list-style-type: none">○子どもに運動・スポーツの楽しさを伝える取組（出前授業・プロスポーツ観戦等）の強化○地域のスポーツ団体・クラブ等における体験・交流の機会（中学での部活動の体験含む）の充実○中学生の運動・スポーツ離れの抑止の取組み（楽しい・参加してみようと思わせるメニューの工夫等）の推進

(3) 働き盛り世代・子育て世代のスポーツの促進 (P.11)

○スポーツの「きっかけ」に向けた意識啓発

市民意識調査結果	充実すべき施策等
<ul style="list-style-type: none">●働き盛り世代（30～50歳代）の運動・スポーツ実施率が低い●特に30代や女性の実施率が低い	<ul style="list-style-type: none">○働き盛り世代が仕事や家事、育児の合間等の「すきま時間」を活用し、気軽に楽しく取り組むことができる運動・スポーツの普及啓発の強化○職場や地域のクラブ、その他若い世代が集まるイベントや施設等を通じた情報発信○自宅等で、家事や育児の合間に簡単にできる運動・スポーツの情報（スポーツ庁「MYスポーツメニューブック」等）の周知○初心者向けの体験教室や体験イベントなどの充実○企業ぐるみでスポーツに取り組む事例の紹介や企業の表彰制度（スポーツ庁「スポーツエールカンパニー」等）の周知○SNS等を活用し、手軽にスポーツ関連情報を相互発信できるコンテンツの充実

○親子で取組めるスポーツの推進

市民意識調査結果	充実すべき施策等
●乳幼児が幼稚園や保育所等の所属以外で定期的に運動・遊びをしていない割合が約5割	○親子で体を動かすことができるプログラムの提供（再掲） ○乳幼児健診等、親子が集う機会を活かし、親子体操プログラム等の提供 ○初心者向けの体験教室や体験イベント等の充実

○スポーツ活動をしやすい環境づくり

市民意識調査結果	充実すべき施策等
●ウォーキングやジョギング・ランニングに取り組む市民が多い	○市民が気軽に運動・スポーツに親しめるよう、ウォーキングルートやランニングルートの設定、ルートマップの作成、公共空間でのルートサインの設置等の検討

(4) 高齢者の健康増進・生きがいづくりのためのスポーツの推進 (P. 12)

○ニュースポーツ等の普及・推進

市民意識調査結果	充実すべき施策等
●スポーツを行わなかった主な理由が60歳代は「機会がなかった」、70歳以上は「年齢の問題」が最も多い	○年齢を気にせず楽しむことができるスポーツや仲間づくりができるメニューの提供 ○ニュースポーツやレクリエーション型のスポーツメニューの提供 ○スポーツ大会やイベント等のボランティアや子どもへの指導等、経験を活かせる活動への参加促進

(5) 障がいのある人のスポーツ支援及び振興 (P. 13)

- ・「主な取組み」の2点目「障害者スポーツの普及」を「パラスポーツ等の普及」に変更
【理由】

障がいのある人のスポーツへの社会参加、障がい理解の促進、スポーツをとおした交流促進のためには、パラスポーツ（いわゆる障がいのある人がするスポーツ）の普及だけでなく、アダプテッド・スポーツ（参加者の体力や障がいによってルールや道具を柔軟に変更する）の普及が必要であるため。

○障がいのある人のスポーツ大会の支援／○パラスポーツ等の普及

市民意識調査結果	充実すべき施策等
●障がい者スポーツの参加・観戦等については、「見たことも関わったこともない」が最も多く、半数近くを占めている	○障がいの有無に関わらず、誰もが興味を持ち参加しやすいイベントの検討

(6) スポーツ関係団体等との連携・協働 (P.14)

○(新規)市内スポーツ関係団体と連携した中学校運動部活動の地域移行の推進

市民意識調査結果	充実すべき施策等
●中学校運動部活動の地域移行について関心が低い	○中学校運動部活動の地域移行について、市内スポーツ関係団体が果たす役割は大きくなっていくと考えられることから、関係団体と連携し、受け皿となる体制づくり、指導者育成等の推進 ○中学校運動部活動地域移行の実証事業等、モデル的な取り組みの推進

○岸和田市スポーツ協会との協働、支援／○岸和田市スポーツ少年団の育成支援

市民意識調査結果	充実すべき施策等
●スポーツ団体やクラブに加入していない人が多く、団体やクラブを知らない人も多い	○岸和田市スポーツ協会や岸和田市スポーツ少年団への支援を通じ、構成団体のPRの支援 ○市民とスポーツ団体の接点づくり

○総合型地域スポーツクラブの支援

市民意識調査結果	充実すべき施策等
●総合型地域スポーツクラブを知らない市民が多い	○総合型地域スポーツクラブの広報活動等の支援の強化

2. スポーツ環境の整備

(1) 社会体育施設の適切な管理運営と計画的な施設整備 (P. 16)

①タイトルを「社会体育施設等の適切な管理運営と計画的な施設整備」に変更

【理由】

スポーツ環境は社会体育施設だけでなく、現計画の「スポーツ活動をしやすい環境づくり」においても「サイクリングマップ等の有効利用」ともあり、また、2021(令和3)年に策定した「岸和田市立社会体育施設再編基本方針」に基づく再編の推進とともに、社会体育施設以外にも市民一人ひとりの多様なライフスタイルやライフステージに応じた、スポーツに親しむための環境の整備が必要であると考えたため。

○(新規)社会体育施設以外の活用

市民意識調査結果	充実すべき施策等
●ウォーキングやジョギング・ランニング等、市内の道路等の都市インフラを使っている市民が多いと推察される	○ウォーキングやジョギング・ランニングを楽しむ人のために、ウォーキングコース、ジョギング・ランニングコースの設定やコース案内サインの設置等、環境整備の検討

○スポーツ関連施設の整備／○スポーツ関連施設の維持管理

市民意識調査結果	充実すべき施策等
●総合体育館、公民館・青少年会館、中央体育館等の利用が多いが、運動・スポーツ広場やプール、テニスコート等、市内スポーツ施設も幅広く利用されている	○2021(令和3)年に策定した「岸和田市立社会体育施設再編基本方針」に基づく実施計画(個別施設計画)の策定

(3) スポーツ推進委員の活動支援 (P. 20)

○岸和田市スポーツ推進委員活動の活性化

市民意識調査結果	充実すべき施策等
●スポーツ推進委員について知らない市民が多い	○地域の身近な場所を利用し、幅広い年齢層が楽しむことができるスポーツ教室等の開催 ○地域と連携したスポーツ・レクリエーションの普及啓発

(4) スポーツ情報の積極的発信・収集 (P.21)

○多様なメディアの活用

市民意識調査結果	充実すべき施策等
<ul style="list-style-type: none">●スポーツをはじめのために簡単にできるスポーツ情報や年齢・体調に応じた運動・スポーツ情報を求める市民が多い●スポーツ団体やクラブについて知らない市民が多い●総合型地域スポーツクラブ、スポーツリーダーズクラブ、スポーツ推進委員について知らない市民が多い●スポーツ大会やイベント開催、スポーツ教室について知らない市民が多い	<ul style="list-style-type: none">○多様なメディアを活用したスポーツ関連情報の発信の強化○ターゲットに応じた媒体による情報の発信

3. スポーツ活力を活かした魅力の創造

(1) トップアスリートと市民が触れ合う機会の充実 (P. 22)

○スポーツ教室の開催

市民意識調査結果	充実すべき施策等
●小中学生はスポーツを観ることについて「どちらでもない」と回答する割合が約4割	○子どものスポーツへの関心を高めるためのトップアスリートを招いたスポーツ教室等の開催

(3) 大規模スポーツイベントの開催・誘致 (P. 22)

- ・「大規模スポーツイベントの開催」を「大規模イベントの開催・誘致」に変更

【理由】

主催するだけでなく、誘致により同じ効果をめざすため。

○(新規)「ささえる」スポーツの推進

市民意識調査結果	充実すべき施策等
●スポーツボランティアについて「したいと思わない」と回答する市民が6割超	○大規模なスポーツイベントの開催・誘致を通じ、スポーツを「ささえる」ボランティア活動への参加促進と人材の確保の検討

○ワールドマスターズゲームズ2027 関西 BMX 競技大会の実施

市民意識調査結果	充実すべき施策等
●ワールドマスターズゲームズ関西においてBMXが市で開催されることを知らない市民が多い	○様々な媒体によるワールドマスターズゲームズ2027関西のPRの強化

(4) 民間の活力を活かした生涯スポーツの推進 (P. 23)

○大学との連携

市民意識調査結果	充実すべき施策等
●大阪体育大学との連携協定について知らない市民が多い	○大阪体育大学との連携による市民一人ひとりの多様なライフスタイルやライフステージに応じた運動・スポーツコンテンツの提供とPR
●大阪体育大学に教えてもらいたいこととして、ストレッチや体の回復に役立つ方法、家の中でも行えるトレーニング等を求める回答が多い	○中学校部活動の地域移行に向けた連携